

基本目標	施策の方向性	主な取組	事業数	所管評価				進行管理(令和5年度)	No.
				A評価	B評価	C評価	評価なし		
1. 男女共同参画社会の 実現に向けた教育・啓発	(1)家庭・地域へ向けて の取組	①男女共同参画センターを中心とし た取組	1	1	0	0	0	オンラインやハイブリッド形式を活用し、男女共同参画に関わる テーマの講座や事業を複数回実施することができた。防災・減災への 取組については、市民や職員向けの講座等を実施する上で男女 共同参画の視点に関する意識啓発を更に充実させるため、関係課と 連携し、効果的な啓発方法を検討していく必要がある。	1
		②防災・減災への取組	2	1	1	0	0		2・3
	(2)市職員への啓発や 学校園等での学習	①市職員の意識醸成【重点取組】	4	2	2	0	0	職員向け研修では、受講対象を例年の新任職員に加え入庁15年 目までの職員に拡大した結果、多くの職員が研修に参加し、広く周 知啓発を行う機会を持つことができた。教職員に対しても、引き続 き啓発資料の配布や研修を行いながら、働きやすい職場環境と気 軽に相談できる体制づくりを行う。	4～7
		②多様な選択を可能とする学校園等 での学習機会の提供	2	2	0	0	0		8・9
	小 計			9	6	3	0	0	
2. 安心して生活できる 環境の整備	(1)生涯を通じた心身 の健康づくりの促進	①年齢に応じた性教育の充実	2	1	1	0	0	性教育、健康づくりに関する講座を関係課間で連携して実施でき たが、テーマによっては集客に苦労する講座もあった。参加者を増 やすために、講座の実施形態や効果的な周知方法を検討しながら 実施していく。 悩み相談事業では、各課で相談者に寄り添った支援を行い、必要 に応じて相談先の情報提供や連携を行った。必要な方へ情報が届 くよう市民及び関係課へ相談事業の周知を継続して行う。	10・11
		②ライフステージに応じた健康づくり	3	1	2	0	0		12～14
		③悩み相談事業	4	4	0	0	0		15～18
	(2)あらゆる暴力の根絶 ※第3次芦屋市DV対策 基本計画	①DV被害者支援	14	13	1	0	0	神戸女学院大学の学生と連携して作成したデートDV防止啓発パ ンフレットの配布や中学校への出張授業により、デートDV防止啓 発を行った。生徒や教職員、保護者等への更なる啓発に取り組む。 DV被害者支援では、DV相談室と関係機関で連携し、DV被害者 が安全で安心した生活を送れるよう、必要に応じた情報提供や支 援を行った。引き続き、DV相談室の周知カードやシールを活用し、 DV相談室の認知度を高める。	19～32
		②DVと性暴力防止のための取組 【重点取組】	2	1	1	0	0		33・34
	小 計			25	20	5	0	0	
	3. 女性の活躍とワーク ・ライフ・バランスの推進 ※第3次芦屋市女性活躍 推進計画	(1)女性へのエンパワメント 推進	①女性が望む活躍への支援	2	2	0	0	0	女性のための起業支援や介護離職の防止等、幅広いテーマで女 性活躍推進事業を多数実施し、女性が望む活躍への支援を行っ た。 令和5年4月1日における市附属機関等における女性委員割合は 36.9%で、昨年度の35.7%から増加したが、令和9年度目標に 達していないため、引き続き、庁内の電子掲示板等で繰り返し女性 委員の積極的な登用について周知するとともに、達成できていな い部署には、個別に見直しを図るよう求める。
②性別役割の偏り解消のための取組			3	2	1	0	0	37～39	
(2)ワーク・ライフ・バランス 実現のための支援		①子育て・介護等の支援	6	6	0	0	0	延長保育事業や病児保育事業を引き続き実施し、子育てをしな がら働ける環境を充実させた。高齢者の支援については、各地域 の高齢者総合相談窓口で本人や家族の支援を行った。 男性の家庭生活での活躍推進のための講座・事業を多数実施し、 参加者からも好評で、事業に参加する父親同士の交流も継続的に 促すことができた。 働き方改革の推進では、職員向けの業務改善やハラスメントに関 する研修のほか、経営者や労働者団体向けには他市や商工会等と 共催のシンポジウム等を通じてワーク・ライフ・バランスの促進啓発 に取り組んだ。	40～45
		②男性の家庭生活での活躍推進 【重点取組】	1	1	0	0	0		46
		③働き方改革の推進	5	3	2	0	0	47～51	
小 計			17	14	3	0	0		
合 計			51	40	11	0	0		

【評価基準】
A評価(A)…目標を達成できたもの
B評価(B)…目標は達成していないが、目標に対して進捗があったもの又は事業等を実施したもの
C評価(C)…目標を達成しておらず、目標に対して進捗がみられないもの又は事業等を実施しなかったもの
評価なし(―)…事業等を実施する必要がなかったものなどA～Cに該当しないもの